

第3分科会 社会科教育(小学校)

政治のしくみやはたらきを身近に感じる社会科学習

～子どもの思考に寄り添った学習過程を通して～(小6社)

1. 主題設定の理由

若年層(10～30歳代)の投票率は、その他の年代と比較すると低い水準にあることが、第24回参議院議員通常選挙でも明らかになった。また、他の国と比較しても我が国の政治に対する関心の低さと投票率の低迷は言うまでもない。さらに、本学級のおよそ半数の子どもたちが市長や市役所ではたらく人々がどのような活動をしているかを知らない現状にある。これは、自分の生活と政治への関連性への認識が薄いためであると考えられる。

このような現状を踏まえ、小学校6年生の発達段階として、政治のしくみやはたらきに対する興味や関心を芽生えさせ、「政治は身近だ」と感じる必要がある。そして、「政治は私たち一人ひとりの願いを叶えるはたらきをしている」と理解することが重要である。そのためには子どもたちの思考に寄り添った学習過程を構成し、問題意識の継続を図らなければならない。そうした学習にとりくむことにより、平和で民主的な国家・社会の形成者に求められる資質や能力の素地を育成することができると考え、本主題を設定した。

2. 研究目標

○政治のしくみやはたらきを身近に感じる子どもを育てるために、子どもの思考に寄り添った学習過程を組むことが有効であることを明らかにする。

3. 研究仮説

政治と私たちのくらしが密接に関わっている具体的な例を調査すれば、政治のしくみやはたらきについて実感することができるだろう。

子どもの思考に寄り添った学習過程を組めば、問題意識の継続が図られ、事実と事実のつながりを捉えることができ、政治のしくみやはたらきについての理解が深まるだろう。

4. 結論

○政治と私たちのくらしが密接に関わっている具体例を調査することによって、子どもたちは政治のしくみやはたらきを身近に感じることができた。ゆえに、「国民一人ひとりの願いを実現する政治」の学習で身近な具体例である北条幼稚園新園舎建設やその他具体例を扱ったことは有効であった。さらに、政治は私たちの願いを叶えるはたらきをしているが、どうしても叶えられないこともあり、物事に優先順位をつけてとりくんでいるということも子どもたちは実感できた。

○指導計画において、既習事項を活かし、学習の対象を比較するために小単元を入れ替えて単元構成をしたことで問題意識の継続が図られて理解を深めることができた。ゆえに、子どもの思考に寄り添った学習過程を組むことは、政治のしくみやはたらきを理解するために有効であった。

目次

- 1 研究主題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
- 2 研究主題設定の理由・・・・・・・・・・ p 1～3
 - (1) 社会的背景 (p 1)
 - (2) 教材について (p 2～3)
 - (3) 児童の実態 (p 3)
- 3 研究目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
- 4 研究仮説・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～5
- 5 大単元の目標・・・・・・・・・・・・・・・・ p 5
- 6 学習のアウトライン・・・・・・・・・・ p 6～7
- 7 研究仮説の検証・・・・・・・・・・ p 8～10
- 8 成果と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ p 10

1 研究主題

政治のしくみやはたらきを身近に感じる社会科学習
～子どもの思考に寄り添った学習過程を通して～

2 研究主題設定の理由

(1) 社会的背景

① 政治への関心の低さと投票率の低迷

世界各国の選挙権年齢を見ると、192 か国のうち 92%にあたる 176 か国が 18 歳までに選挙権を得るということが分かった。(2014 年 2 月国立国会図書館調べ) これまでの日本は、世界的に見ると少数派であった。だが、日本でも平成 27 年 6 月、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、公布された(2016 年 6 月 19 日施行)。そして、年齢満 18 歳以上満 20 歳未満の者が選挙に参加することができることになった。これからの社会の担い手である若者の意見を政治に反映させ、若者に未来の当事者意識を育むという考えが反映されているものとする。

2016 年 7 月に行われた第 24 回参議院議員通常選挙は、選挙権年齢が 18 歳以上へ引き下げられてから初めて実施された国政選挙であった。有権者全体の投票率は 54.70%で、内訳をみると 10 歳代が 46.78%、20 歳代が 35.60%、30 歳代が 44.24%となっている。最も高い数値を示すのが 60 歳代の 70.07%であった。10 歳代のうち、特に 18 歳の投票率は 51.28%と、20 歳代及び 30 歳代の投票率に比べ高い水準となっており、それらと比較すると主権者教育等による一定の効果が出たと考えられる。

しかしながら、若年層全体としては、投票率はいずれの選挙でも他の年代と比べて低い水準にとどまっている。これは、自分の生活と政治への関連性への認識が薄いためと考えられる。

このような現状を踏まえ、6 年後には選挙権を行使できるようになる小学 6 年生に小学校の発達段階として、政治に対する興味や関心を芽生えさせる必要がある。そして、政治のしくみやはたらきを身近に感じ、中学校以降の政治学習の素地を養うことが喫緊の課題であるとする。

② 平和で民主的な社会の形成者として、未来へ向かって

戦後の日本が、世界的に見ても大きく発展してきたことは言うまでもない。国民一人ひとりが尽力し、世界の国々と肩を並べるまでに成長した。そのために、政治の果たした役割は大きい。民主的な政治により、国民一人ひとりの幸福が求められ、それに向けて人々が努力し、発展してきたのである。

子どもたちはより良い国家・社会の形成者として政治に関心をもち、将来、国民として政治に参加する必要がある。そのため、政治は難しいものではなく、身近にあるものであり、より良い社会を形成する上で必要なものだの実感させることが小学校社会科教育に求められていると考える。

このことから、子どもの思考に寄り添った学習過程を組むことにより、政治のはたらきを身近に感じさせることが重要である。このように、子どもたちが政治のしくみやはたらきを身近に感じることで、平和で民主的な国家・社会の形成者に求められる社会的な資質・能力の素地を育成することができると考える。それらが社会科教育の担う重要な役割であると考え、本主題を設定した。

(2) 教材について

①「わたしたちのくらしと日本国憲法」について

我が国の民主政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしている。また、日本国憲法が定める平和主義・基本的人権の尊重・国民主権の三原則は平和で民主的な国家・社会を築く上で重要な役割を担っている。

6年後に選挙権を得る小学6年生にとって本単元は主権者教育の導入期である。そこで、中学校社会科教育との系統（公民的分野「私たちと政治」）を考慮しながら日常生活との結びつきが見られる事例（納税の義務や男女平等・教育を受ける権利）など、子どもにとって理解しやすい身近な事例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を具体的に理解できるようにする必要がある。

また、憲法はすべての法律の下になっている。それを身近な事例を通して理解することによって、子どもたち一人ひとりが「自分たちの生活と憲法は深く結びついているんだ」と実感できると考える。

②「政治と国民生活」について

国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが大きく反映している。この小単元では、子どもたちが館山市の政治のしくみやはたらきを実感することがねらいである。また、市の政治が県や国の政治とどのように関わるのかという市・県・国の協力体制を理解することも重要である。

そこで、子どもにとって館山市の政治のしくみやはたらきが最も理解しやすい事例である館山市立北条幼稚園新園舎建設を取り上げる。市民（幼稚園保護者）がどのように市に働きかけたのか、それによって市の政治はどのようなはたらきを行ったのかを具体的に調べる。その中で、子どもたちは事業の計画から実施までの過程、規模や予算に着目し、市が地域の実態に応じて、市民の願いを取り入れ、県や国と協力しながら長期的な見通し（子育て支援の充実…子ども園化や時間外保育の拡充）を立て、望ましい施策を決定し実行していることを理解することができる。さらに、幼稚園新園舎建設以外にも調査を進めることで、館山市の公園の遊具の設置や撤去、歩道橋の設置、道の駅の建設等、私たちの生活と関係するものが政治のしくみやはたらきと大きく関わっていることも理解できる。

上記の学習を通して、子どもたちに、「日本国憲法によって定められたことが、市の政治にも反映されている。また、市も県や国と連携しながら政治を行い、人々の生活をより良くしようとしている」という認識を形成させたい。

③「国の政治のしくみ」について

我が国の政治は、日本国憲法のもと、司法・立法・行政の三権により成立している。これを小学校6年生の発達段階において理解することはなかなか難しい。

そこで、前単元で学習した市の政治のしくみと国の政治のしくみを比較しながら学習を構成する。そうすることで、子どもたちにとって身近だと感じにくい国の政治のしくみが理解しやすくなると考える。市の政治での学習を活かして、国会の議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割についても調べることで国の政治の特色をより身近なものとして理解できると考える。

上記の学習により、子どもたちに「国の政治も市の政治と似ている。内閣総理大臣を中心として内閣を組織し、国会で話し合い、三権分立のもとそれぞれの立場からより良い国を目指している」という認識を形成させたい。三権分立の仕組みは子どもたちの発達段階にとって非常に難しい概念であるが、民主主義の根本的な考え方である。そこで子どもたちが理解しやすいように市の政治と比較しながら学習を進めることが有効であると考えた。

(3) 児童の実態

○本教材における子どもたちの様子（6年2組33人学級）（アンケート結果より）

政治学習について子どもたちにアンケートをとったところ、「政治について身近ではない」と答えた子の割合は学級の半数近くいた。当たり前のことだが、子どもたちにとって、政治はよくわからないもの、難しいものという意識が高いように思える。また、市役所のしくみやはたらき市長の仕事などの知識や理解の面においても低い数値を示している。

このことから、子どもたち一人ひとりに政治を身近に感じさせ、政治についての理解を向上させる必要があると考える。

＜アンケート結果より＞

① 政治は身近ではないという意識

3 研究目標

政治のしくみやはたらきを身近に感じる子どもを育てるために、子どもの思考に寄り添った学習過程を組むことが有効であることを明らかにする。

4 研究仮説

仮説1及び手立て

政治と私たちのくらしが密接に関わっている具体的な例を調査すれば、政治のしくみやはたらきについて実感することができるだろう。

(1) 日本国憲法に記載されていることが身近な生活と関わっていることに気づく。

子どもたちは日本国憲法を見たことがない。そこで、インターネット上に掲載されている日本国憲法を実際に読んだり、前文を小学生にもわかりやすく解説した資料をもとに日本国憲法に書かれていることを大まかにつかんだりする。また、子どもたちにとって実感しやすい納税の義務や男女平等・教育を受ける権利等から日本国憲法と自分たちの生活の関連性について気づかせたい。

さらに、日本国憲法はすべての法律のもとになっている。教科書の無償配布や、定期的な健康診断など子どもたちの身近な生活の中で、様々な法律の上に自分たちの生活が成り立っていることを実感させたい。

(2) 身近な事例として北条幼稚園建設を取り上げることで、政治のしくみやはたらきを実感する。

身近な事例として北条幼稚園新園舎建設（公共施設建設）を取り上げる。ほとんどの子どもたちは旧北条幼稚園に登園していた。自分たちが登園していた旧幼稚園と比較しながら「どうして園舎が新しくなったのか」「だれが新園舎建設を進めたのか」「建設に伴い、どのくらいの

お金がかかったのか」「そのお金は誰が出しているのか」と疑問が生まれるであろう。そこで、実際に調査活動を進めていく。そして、幼稚園職員や幼稚園の保護者などからのインタビュー活動を通して、幼稚園の評価アンケートの保護者の要望や市役所のはたらきによって建設に至ったという経緯に気づかせたい。

(3) 市役所の方々から新園舎建設の経緯を調査することを通して、公共施設建設には市役所のはたらきがあることを理解する。

幼稚園見学を経て、館山市役所の建設施設課や子ども課の方々から、新園舎建設の経緯を調査する。すると、東日本大震災以降の公共施設の耐震性の問題や老朽化の問題、保護者からの要望に気づく。またそれだけではなく、数年も前から計画を立てそのための費用を議会の承認を得て確保し、国（文部科学省や国土交通省）からの補助金を得て新園舎建設に着工できるという市の政治のしくみやはたらきを具体的に理解することができる。さらには、幼稚園建設に市役所の職員や建設業者、保護者など多くの人々がかかわっていることも実感できるであろう。

(4) 北条幼稚園建設だけではなく、他の事例を調べることを通して、政治のしくみやはたらきが自分たちの生活と多く関わっていることに気づく。

北条幼稚園新園舎建設だけでなく、市民の願いが叶えられた他の事例も調査する。すると通学路にある歩道橋の設置や道路の交通表示、公園の遊具の建設、道の駅（渚の駅）の建設、小学校の耐震化など様々な事例が挙がる。一方で公園の遊具などは老朽化に伴い撤去され他の遊具に変わることもなども調べられる。幼稚園建設という大規模な事業だけでなく、自分たちの身近な生活圏でも政治のしくみやはたらきがかかわっているということに気づくことができる。そうすることにより政治のはたらきは自分たちの生活と深くかかわっているということを実感させたい。

仮説2及び手立て

指導計画において、子どもの思考に寄り添った学習過程を組めば、問題意識の継続が図られ、事実と事実のつながりを捉えることができ、政治のしくみやはたらきについての理解が深まるだろう。

(1) 歴史学習の延長として政治学習を捉え、日本国憲法を学習のスタートとする。

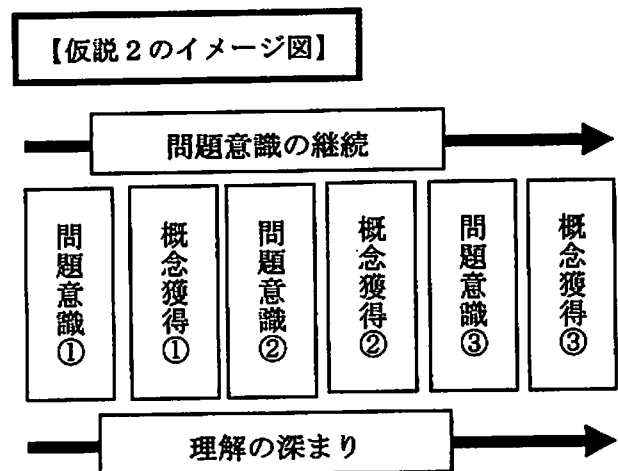
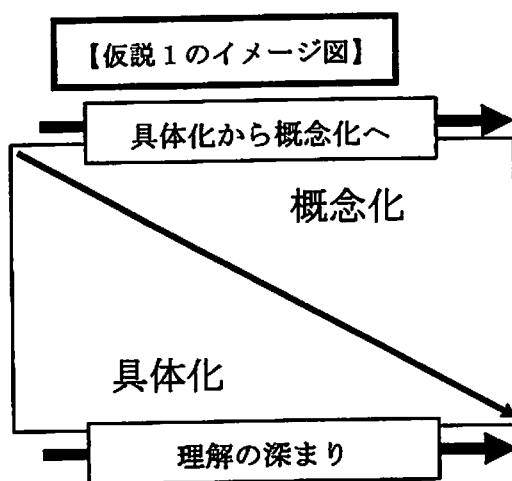
教科書「新編新しい社会6下」を読むと、「政治と国民生活」の学習から始まる。私は歴史学習と政治学習の系統性が薄く、違和感を覚えた。そこで、これまで学習してきた歴史学習と現代の政治学習を関連させながら、既習事項を活かして学習を進めていく。子どもたちは歴史学習において、各時代の政治史を学習している。例えば飛鳥時代の聖徳太子の政治、そこには十七条の憲法が登場する。平安時代には貴族による政治が行われ、鎌倉時代には貴族に代わり武士が政治を行うようになる。江戸時代には封建制のもと政治が行われる明治時代には欧米諸国に「追い付き、追い越せ」と国力を高めるための政策が行われ、国会開設に伴い、大日本帝国憲法も発布された。そして、先の大戦の戦後改革のひとつとして日本国憲法が公布させた。このように子どもたちは歴史学習における政治史を学習しているのである。過去の歴史との比較により、日本国憲法が歴史学習と政治学習の懸け橋になると考え、日本国憲法の学習からスタートする。

(2) 問題意識を継続させるために、国民主権の考え方をかわきりに市政の学習をスタートする。

日本国憲法の三原則の中に国民主権の考え方がある。日本国憲法の学習を終えた後、国民主権の考えのもと、子どもたちには自分たちの身近なもので「一人一人の願いがかなえられているものはなにがあるのか」という意識が芽生えてくるだろう。そこで、北条幼稚園園舎建設を具体例として学習をスタートさせる。

(3) 理解を深めるために市政と国政を比較しながら学習を進め、政治のしくみやはたらきの共通点に気づく。

子どもたちにとって、国の政治のしくみを理解することは簡単なことではない。そこで館山市の政治のしくみと国の政治のしくみを比較しながら学習を進める。館山市役所の各課や内閣の各省庁、市議会と国会を比較することで、市の政治のしくみと国の政治のしくみの共通点に気づかせ、理解を深めさせたい。さらに、小单元間の子どもたちの問題意識の継続を図ることで学習意欲の高まりを継続できるように配慮したい。これにより、国の政治のしくみについて問題意識が高まり、理解が深まると考える。



5 大単元目標「わたしたちの生活と政治」

関心・意欲・態度	我が国の政治の働きに関する社会的事象に関心をもち、政治と国民生活のかかわりや日本国憲法にもとづく政治のはたらきについて進んで調べようとしている。
思考・判断・表現	政治は国民生活の安定と向上に大切な働きをしていることや日本国憲法にもとづく我が国の政治の働きについて考え、適切な言葉で表現している。
観察・資料活用の技能	地方公共団体や国の政治の働き、日本国憲法の基本的な考え方を調査したり、資料を活用したり、調査活動をしたりして必要な情報を読み取っている。
知識・理解	我が国の政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることやそれらは日本国憲法の考え方にもとづいていることを理解できる。

6 学習のアウトライン（大単元名「わたしたちの生活と政治」）

① 私たちのくらしと日本国憲法

日本国憲法ってどんなことが書かれているのかな？

つかむ①

- 歴史学習を振り返り、なぜ戦後の日本は平和になったのか考える。
- 日本国憲法の前文を読み取り、国の理念について考える。

子どもの
問題意識

日本国憲法には何が書かれているのだろうか？

三原則ってなんだろう？

調べる①
②③④

- 大日本帝国憲法と比較しながら、日本国憲法が定める三原則について資料から調べる。（平和主義・基本的人権の尊重・国民の権利と義務・国民主権）

義務を果たしているからこそ、
権利を主張できるんだ！

私たちが納税の義務や教育を受
ける義務を果たしているんだ！

深める①

- 日本国憲法の三原則について話し合う。

日本国憲法の3つの原則はどれも私たちの生活に深く関わっていて、どれも欠く
ことができない考え方なんだ！

まとめる
①

日本国憲法には、国民が安心して生活できるように、平和主義・基本的人権
の尊重・国民主権の3つの原則のもと、私たちの生活に欠かせない約束が書
かれており、人はだれでも幸福を追求する権利がある。

子どもの
問題意識

国民主権の考え方にある国民一人一人の願いは本当に叶えられているのか
な？

② 国民一人ひとりの願いを実現する政治

つかむ①

- 日本国憲法の学習を振り返り、館山市の中で国民主権の考えが反映されて
作られたり建てられたりしたものについて考える。

子どもの
問題意識

学習問題②本当に、新北条幼稚園は一人ひとりの意見をもとにしてつくられ
たのか？

調べる①

- 北条幼稚園は、旧幼稚園と比べてどのように良くなったか見学で調べよう。

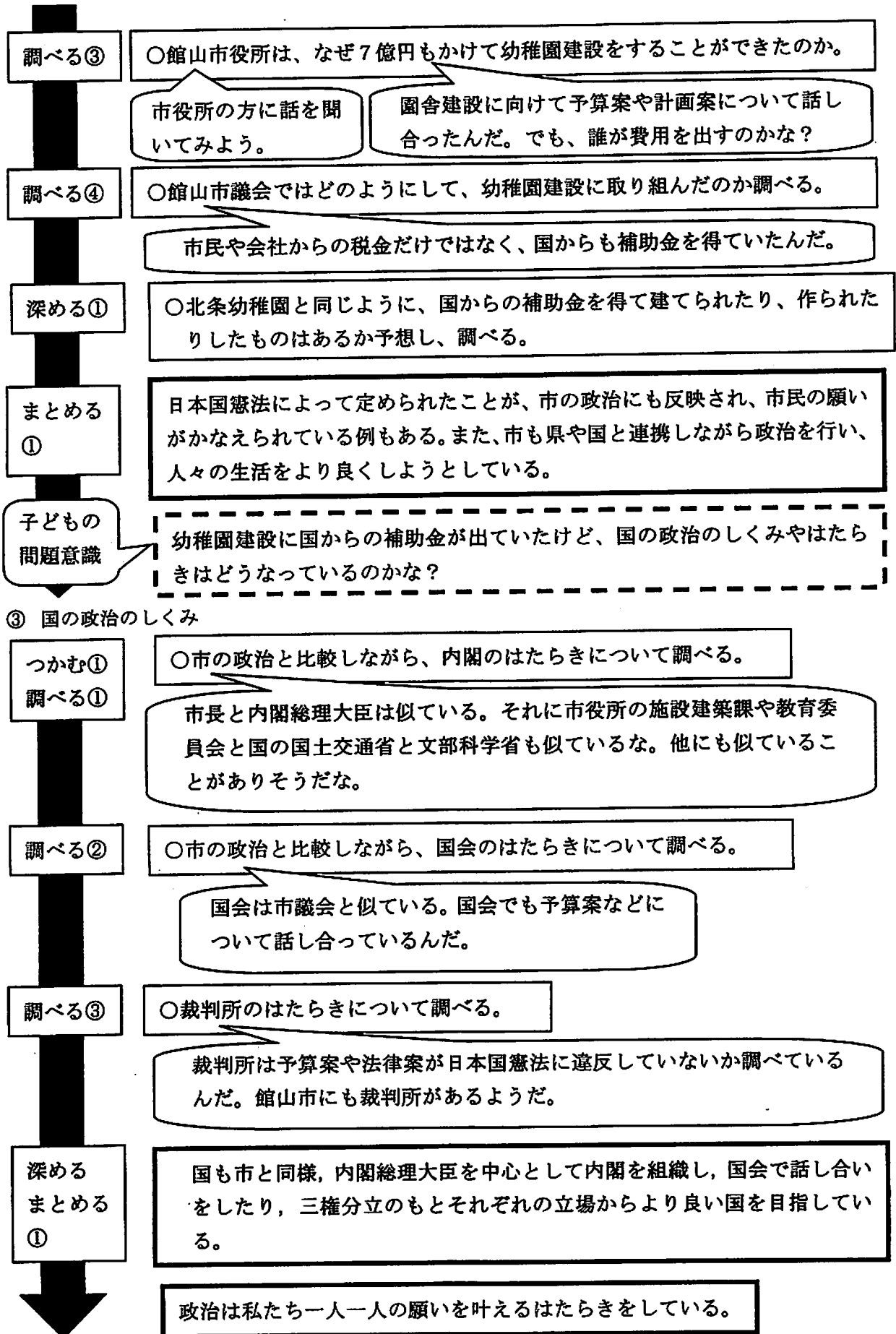
だれがどのように働きかけて
建設されたのかな？

幼稚園の先生や保護者に聞いてみ
よう！

調べる②

- 北条幼稚園建設はだれがどのようにかかわって建設されたのか。

耐震性に問題があったり、市民の要望があったりしたんだ。でも、誰が決めたのかな？



7 仮説の検証

仮説1 政治と私たちのくらしが密接に関わっている具体的な例を調査すれば、政治のしくみやはたらきについて実感することができるだろう。

【アンケート結果から】(1～4段階の肯定的な回答を%表示で記載)

アンケート項目	事前	事後	変容
①あなたにとって国や館山市が行う政治は身近なことですか？	65%	82%	+17%

①から国や館山市が行う政治が子どもたちにとって身近になったことがわかる。以下で、授業での様子から検証を進める。

【授業での様子から】※HGゴシックM体=子どもの感想の抜粋

「わたしたちのくらしと日本国憲法」つかむ①→調べる①②③④→深める①

歴史学習の延長として本単元へとりくんだ。「日本国憲法にはどのようなことが書かれているのだろうか。」という単元を貫く学習問題をつくるにあたり、インターネットで原文を読んだり、日本国憲法の前文を原文だけでなく小学生にもわかりやすい形(資料集の活用)で提示することによって日本国憲法と自分たちの生活との関連性を実感できた。また、日本国憲法の三原則の学習では、大日本帝国憲法と比較しながら学習を進めていくことで、日本国憲法の特色が理解しやすくなった。

A: 日本国憲法第26条に教育を受ける権利が書かれてあり、だれでも学校に行けると思いました。

憲法がなかったら今ごろ家で暇をしていると思います。

B: 基本的人権の尊重を学習して、今の憲法は義務を果たせば自由にできることが多くあることがわかりました。江戸の時は将来のことも決められていたので今の憲法がいいなと思いました。

C: 憲法の三原則はやっぱり欠けることのできない大切なものだと思います。そして、三原則は日本を支える三本の柱(緑の下の力持ち)のようなものだと思います。

D: 私は普段の学校生活と平和主義は関係があると思います。学校でも争いやぼう力をしてはいけません。日本国憲法の平和主義は私たちの学校生活と共通点があると思います。

「国民一人ひとりの願いを実現する政治」つかむ①→調べる①②

前単元で子どもたちが学習した後、「本当に国民の願いは実現されているのか?」という疑問の声が聞こえた。子どもたちの予想も旧園舎の老朽化に気づく声が多かった。それをもとに北条幼稚園新園舎建設に伴う市の政治のはたらきやしぐみについて学習を進めた。実際に、子どもの代表が幼稚園に調査の許可を得て、子どもたちの身近である幼稚園へ調査した。幼稚園の先生や保護者にインタビューすることで保護者の願いに気づき、市役所のはたらきについて理解が深まった。

E: 北条幼稚園に調査しに行きました。保護者の方々に質問をしてどんな思いをもっているのが分かりました。幼稚園の教頭先生の話から保護者へアンケートを行ったこともわかりました。

F: 保護者の方々の声などを聞いて建てられたということは一人一人の願いがちゃんと叶っているのではないかなと思いました。まさか、幼稚園の建設に市役所がかかわっているとは思いませんでした。

「国民一人ひとりの願いを実現する政治」調べる③④

幼稚園で調査を進めていると、新園舎建設には館山市役所が関係していることが分かる。また、

館山市の財政面は貯金が少なく借金が多いという状況であるということも学習した。「なぜお金がないのに7億円以上もお金を出せるのか?」「7億円は誰が払っているのか?」と疑問があがる中で実際に館山市役所の子ども課や建築施設課の方々に話を聞くことができ、調査を続けることで館山市の政治のしくみやはたらきへの理解が深まった。

A: 阪神淡路大震災がきっかけで耐震性の調査ができたことはいいことだと思います。
市役所の方々は市民のことを思ってくれているとわかりました。

B: 北条幼稚園の建設について、耐震性の問題があったのと同じく保護者や先生の要望にも応えて使いやすい幼稚園にしていると思いました。

C: 幼稚園の工事費がとてめにかかっているなと思っていたら、お金を借りているということがわかりました。国からもお金が出ていました。市は安全を第一に考えていました。

「国民一人ひとりの願いを実現する政治」深める①

幼稚園建設に伴う、市役所の政治のはたらきやしくみを調べた後、幼稚園以外にも「市民の願いが叶えられたものはあるのかな?」と子どもたちに問いかけた。そこで実際に調査を進め様々なものが市役所のはたらきにとって建てられたり、作られたりしていることが分かってきた。そうすることで、政治のはたらきが自分たちの生活とかかわっていることに気づいた。

D: 北条小も耐震工事がされて、たくさんの人が安心できました。3年生のころは図工室で大変だったけど、耐震化されてよかったなと思います。

E: 幼稚園の他に市役所のはたらきによって建てられているものがありました。ただし、安全や安心を考えて優先順位を考えていることがわかりました。

仮説2 指導計画において、子どもの思考に寄り添った学習過程を組めば、問題意識の継続が図られ、事実と事実のつながりを捉えることができ、政治のしくみやはたらきについての理解が深まるだろう。

【アンケート結果から】(1～4段階の肯定的な回答を%表示で記載)

アンケート項目	事前	事後	変容
①館山市の政治と国の政治を比べて、似ているところはありますか?	70%	92%	+22%
②「ある」としたらどんなところですか?			
予算案の提出、国は国民のために市は市民のために政治が行われていること、どちらもより良い国や市づくりを目指していること、市役所は内閣と国会は国会と似ていること			
③市役所で働く人はどのような仕事をしているか知っていますか?	57%	80%	+23%
④市長はどんな仕事をしているか知っていますか?	50%	87%	+37%

①から市の政治と国の政治の似ている点に気づく子どもが増えたこと、③④では、市の政治のしくみやはたらきを理解した子どもが増えたことがわかる。以下で、授業での様子から検証を進める。

【授業での様子から】※HGゴシックM体=子どもの感想の抜粋

「わたしたちのくらしと日本国憲法」つかむ①

つかむ段階で「なぜ日本は平和になったのか?」と子どもたちに発問した。すると子どもたちは戦後改革のひとつとして学習した「日本国憲法」を挙げた。そこから学習をスタートさせ、歴史学習と政治学習との子どもたちの問題意識の継続を図ることができた。

A: 今日は日本国憲法の学習をしました。
私は2学期にやった社会とつながっている
なと思いました。私は改めて過去の歴史と
今はつながっていると思いました。

B: 2学期に日本国憲法のことをちょっと勉強
しました。その時は50条くらいかなと思ってい
たけど、103条まであるなんてびっくりしまし
た。

「国民一人一人の願いを実現する政治」→つかむ①→調べる①②③

「わたしたちのくらしと日本国憲法」の学習を終えた後、子どもたちに「みんなの身近で一人ひとりの願いが叶えられて、作られたりや建てられたりしたものはあるのかな？」と問いかけた。すると、子どもたちにとって身近な新北条幼稚園が挙がった。旧北条幼稚園に通っていた子どもたちも多く「なぜ新しくなったのか?」「誰が建てたのか?」と疑問をもった子どもたちから問題意識が形成された。

C: 私は幼稚園は園長先生が作ったと思い
ます。実際に幼稚園に行ってインタビュー
したいと思います。

D: 今日の学習ですごく疑問に思ったことがあ
ります。なぜ館山市は経済的に豊かでないのに
幼稚園を作ったのかです。

「国の政治のしくみ」調べる①②③→深める①

館山市の政治のしくみを学習した後、幼稚園建設に伴い国から補助金を得ていることが分かった子どもたちは国の政治のしくみに学習を進めた。国の政治のしくみは市の政治のしくみと比較しながら学習を進めることによって理解を深めることができた。

E: 内閣のはたらきを学習しました。内閣
には財務省や文部科学省、国土交通省など
があり、市の教育委員会や建築施設課と似
ているなと思いました。

F: 今日は国会のしくみについて学びました。
国会は大事なところで多数決で物事を決めて
いました。市議会でも同じようなことをして
いるなと思いました。

G: 憲法がなかったら、国会がなくなって、
国会がなくなったら施設がなくなって、施
設がなくなったら不便になって…とくら
しにくい国になってしまうと思います。だ
から憲法は大切だと改めて思います。

H: 国の政治のしくみも日本国憲法がかかわ
っていました。前学んだ、基本的人権の尊重・
平和主義・国民主権の3つも日本国憲法に基
づいてやっていたので、やっぱり日本国憲法
はとても大切だなと思いました。

8 成果と課題 (○と●)

○政治と私たちのくらしが密接に関わっている具体例を調査することによって、子どもたちは政治のしくみやはたらきを身近に感じることができた。ゆえに、「国民一人ひとりの願いを実現する政治」の学習で身近な具体例である北条幼稚園新園舎建設やその他具体例を扱ったことは有効であった。さらに、政治は私たちの願いを叶えるはたらきをしているが、どうしても叶えられないこともあり、物事に優先順位をつけてとりくんでいるということも子どもたちは実感できた。

○指導計画において、既習事項を活かし、学習の対象を比較するために小単元を入れ替えて単元構成をしたことで問題意識の継続が図られて理解を深めることができた。ゆえに、子どもの思考に寄り添った学習過程を組むことは、政治のしくみやはたらきを理解するために有効であった。

●「国の政治」における裁判所の扱いが非常に難しく感じた。また、比較を学習活動に取り入れたがまだまだ概念的な理解に留まってしまう部分が多い。子どもたちがいかに政治を身近に感じるか自分自身に問い続け、今後も教材研究を続けていきたい。

第67次千葉県教育研究集会

第3分科会
(社会科教育・小学校)

13

資料編

政治のしくみやはたらきを身近に感じる社会科学習

～子どもの思考に寄り添った学習過程を通して～ (小6社)

3-1

安房支部

館山市立北条小学校

小泉 拓也

館山市立盤房小学校

中川 翔矢

資料編 目次

I 教材について (図) … p 1

II 教材について… p 2

III 実態調査アンケートの結果… p 3～4

IV 学習指導計画… p 5～10

V 授業の実際… p 11～19

VI 児童の変容… p 20

教材について<図>

日本国憲法

国家や国民生活の基本を定めている。

三原則

<国民主権>

- ・国民に参政権・選挙権
- ・天皇は日本国の象徴
- ・国民の祝日

<基本的人権の尊重>

- ・個人の尊重
- ・公共の福祉
- ・自由権・平等権・社会権等

<平和主義>

- ・戦争放棄

三権分立

<国会>

- ・衆議院と参議院
- ・国会議員は選挙によって選ばれる
- ・立法機関

<内閣>

- ・総理大臣が中心となる
- ・国民のためのいろいろな仕事をする

<裁判所>

- ・国民の権利を守る
- ・法律にもとづいて問題を解決する
- ・裁判員制度

国民の願いを
かなえる政治
のはたらき

民主的な政治

- ・平和で民主的で豊かな社会生活の安定と向上を図る
- ・わたしたちの生活と密接な関係にある
- ・人々の願いが活かされている

市の政治

- ・市役所や市議会は、市民の願いを実現するために話し合っている
- ・人々の願いを実現する仕事を進めるために、税金が重要な働きをしている

例 教育施設建設 福祉事業 まちづくりなど

都道府県 ↔ 市町村

国

教材について

1 館山市の人口について

館山市は 1980 年に人口 56257 人とピークを迎えたが、それ以降は右肩下がり、2017 年 5 月 1 日現在 46621 人となっており、人口減少が歯止めがかからない状況にある。特に市南部の富崎地区や豊房地区において、過疎化が顕著である。人口の減少に伴い、市の財政面も非常に逼迫した状況に陥っている。

2 館山市の財政について

2016 年度の一般会計の特徴として、「地方交付税交付金」や「国庫支出金」の歳入が増加する一方で、「房南地小中一貫校施設整備」「北条幼稚園建設」などの大規模建設事業の実施、さらに、「障害者自立支援活動事業」などの社会福祉関係費が増加したことにより歳入・歳出ともに増加することとなった。

さらに、現在の館山市の状況は、市債（借金）が増加傾向にあり、基金（貯金）がやや減少傾向にある。また、県内の他市と比較すると借金が多く、貯金が少ないという現状がある。

「広報 だん暖たてやま 2016 年 10 月 1 日付けより」

3 地域教材を扱う意義

「地域」を生かした教材づくりを行うことは以下の効果があると考えている。

- ①身近な地域社会に起きている事象を具体的に捉えることができる。
- ②自分の体験や経験をもとに考えることができる。
- ③地域の課題に気づき、問題意識をもって追求できる。
- ④調査のために、調査先へ何度も足を運び調べることができる。
- ⑤地域社会で起きていることと、自分とのかかわりを考えることができる。
- ⑥地域で起きていることが国や県と結びついている分、自分の考えを広げることができる。

4 館山市立北条幼稚園新園舎建設について

(1) 北条幼稚園の概要

本校の子どもたちのほとんどは北条幼稚園の卒業生である。小学校から徒歩 1 分の立地で、登下校の時には工事の様子を見ている子どももいた。旧北条幼稚園は、建設から 45 年以上経過し、木造で激しい老朽化や耐震性に問題を抱えていた。幼稚園保護者からもアンテナ等でも老朽化や耐震性の問題について言及されており、館山市も建て替えをすぐさま行わなければならない状況になっていた。予算の都合もあり、すぐに建て替えを行うことができなかったため、仮補強をして建て替えの時期を待っていた。

そしてようやく新園舎建設にたどり着き、2016 年 8 月に新園舎が完成した。また、今後北条幼稚園は「子ども園化」される予定となっている。今年度からは預かり保育の時間を延長し、子育て支援事業を拡大した。行政と市民の願いや考えが一致した結果、新園舎建設に着工し、その後の子育て支援事業拡大につながっている。

「社会科アンケート調査」(男子15名 女子18名 計33名)

事前調査2016年12月16日(金)

事後調査2017年3月14日(火)

No	質問内容	事前	事後	比較
1	あなたは社会科が好きですか？	72%	85%	+13%
2	身の回りで調べてみたいと思うことはありますか？	70%	80%	+10%
3	社会科の学習で、調べてみると「なるほど」「すごい」と思ったことはありますか？	87%	95%	+8%
4	自分の生活は様々な人たちに支えられていると思いますか？	97%	97%	0%
5	社会科で学習したことや、考えたことを、大人や地域の人に話してみたいと思いますか？	67%	75%	+8%
6	社会科見学や校外学習は好きですか？	95%	97%	+2%
7	社会科の学習で教科書や資料集を用いた「調べ学習」は好きですか？	75%	78%	+3%
8	社会科の学習で、資料を読み取る活動は好きですか？	75%	78%	+3%
9	社会科の学習で、誰かにインタビューをしたり、取材をしたりするのは好きですか？	62%	78%	+16%
10	社会科の学習で調べた内容を発表するのは好きですか？	72%	78%	+5%
11	社会科の学習でペアやグループで話し合うことは好きですか？	85%	90%	+5%
12	社会科の学習で学級全体で話し合うことは好きですか？	78%	80%	+2%
13	今まで学習してきた歴史学習とこれから学習する(これまでに)学習した政治学習はつながりがあると思いますか？	75%	87%	+13%
14	国や館山市の行う政治はあなたにとって身近なことです	67%	82%	+15%
15	館山市の政治と国の政治を比べて、似ているところはある	65%	82%	+17%
16	自分も地域社会の一員として、地域社会に加わっている自	70%	82%	+12%
17	将来、選挙に行きたいと思いますか？	67%	80%	+13%
18	日本国憲法は日本の国づくりにとって大切な存在だと思	90%	95%	+5%
19	市役所で働く人はどのような仕事をしているか知ってい	57%	80%	+23%
20	市長はどのような仕事をしているか知っていますか？	50%	87%	+37%

※肯定的な意見を%で表記する。

①国や館山市の政治が「身近だな」と感じる時はどんな時ですか？

事前	事後
○市役所に行ったとき ○6年後に選挙に行くから ○市で行うことが自分の生活にかかわったとき など	○幼稚園が建てられるとき ○登下校に使う信号や中央公園の遊び道具が建て直されたり、直されたりするとき ○人々の願いが叶って公共施設が建てられるとき ○北条小学校の耐震化を調べたとき ○選挙が行われるとき ○選挙で家の近くの高校が会場になったとき など

②館山市と国の政治を比べて、似ているところはあると思いますか？あるとしたらどんな所だと思いますか？

事前	事後
○総理大臣や市長を中心に政治をしていること ○人のために何かをしていること	○予算案を提出すること ○国は国民のために、市は市民のために政治が行われていること。どちらも一人ひとりのために政治が行われていること ○どちらもより良い国や市を目指していること ○市役所は内閣と、議会は国会と似ていること ○市も国も話し合いで物事を決めていること ○市と国は、活動のはんいが小さかったり大きかったりの差で、やっている活動は似ている など

「国や館山市の行う政治はあなたにとって身近なことですか？」の質問内容について、事前のアンケートで肯定的な意見を示した子は、67%であった。だが、事後のアンケートでは、82%に増加した。さらに、具体的に「国や館山市の政治が「身近だな」と感じる時はどんな時ですか？」という記述に関しては、具体的に調査した幼稚園建設や北条小耐震化・公園の遊具の建設や老朽化に伴う撤去などの内容であったり、選挙と関連させて考えたりしている子どもたちが多くいた。政治と私たちのくらしが密接にかかわっている具体的な例を調査した学習を構成したからこそ、このような結果が得られたと考えられる。

事前アンケートではほとんど記述することができなかった「館山市と国の政治を比べて、似ているところはあると思いますか？あるとしたらどんな所だと思いますか？」の質問内容では、市の政治と国の政治を比較して考えられている子どもが多くなった。比較したからこそ考えが広がり「身近に感じる」と答えた子どもが増えたとも考えられる。子どもの思考に寄り添った学習過程を組んだことによって、事実と事実のつながりを捉えることができた。

さらに「自分も地域社会の一員として、地域社会に加わっている自覚はありますか？」という質問内容も12%増加している。幼稚園の先生や保護者、市役所の方々など多くの人とのかかわりにおいて、子どもたちは自分たちも自地域の一員という自覚が芽生えたのではないかと考える。

「学習指導計画」(大単元名 6年「わたしたちの生活と政治」)

「政治は私たち一人ひとりの願いを叶えるはたらきをしている」という中心概念に迫り、より深い理解ができるよう、教科書の小単元構成を入れ替えて学習指導計画を作成した。

(1) 私たちの暮らしと日本国憲法

時	学習のめあて	子どもの活動 (○)	子どもの問題意識
つかむ①	日本国憲法前文を読み取り、憲法が目指す国づくりについて理解することができる。	○歴史学習を振り返り、なぜ戦後の日本は平和になったのか考える。 ○日本国憲法 26 条教育を受ける権利によって憲法がどのように自分たちの生活とかわわっているか考える。 ○日本国憲法の前文を読み取り、国の理念について考える。	・なぜ、戦後の日本の復興・発展は進んだんだろう。 ・日本国憲法の前文には日本が目指すべき国の姿が描かれているんだな。 ・平和主義や基本的人権の尊重・国民主権の考え方が大切にされているんだ。もっと詳しく知りたいな。
学習問題① 日本国憲法には何が書かれているのだろうか。			
調べ②	過去の歴史を振り返り、憲法が定める平和主義について考えることができる。	○日本国憲法が定める平和主義について資料から読み取る。 「平和主義」とはどのような考えなのか。 ○大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し「平和主義」について調べる。 ○過去の歴史を振り返り、憲法が定める平和主義について考える。	・国連加盟国中、日本は 1945 年以降一度も戦争をしていない国なんだ。 ・国は世界に 8 カ国しかないんだな。 ・平和条項がある国でも戦争をしている国があるんだ。憲法は国民みんなが守っている大切なものなんだ。 ・日本の歴史を学習した時には争いがたくさんあったな。
平和主義は、もう二度と戦争はしないという考えのこと。			
調べ③	身の回りで基本的人権の尊重のように、様々な権利が保障されている例について調べることができる。	「基本的人権の尊重」とはどのような考えなのか。 ○大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し「基本的人権の尊重」について調べる。 ○身の回りで基本的人権の尊重のように、様々な権利が保障されている例について調べる。	・江戸時代の士農工商の制度では、職業選択の自由がなかったな。今は憲法で定められているから職業を選択できるんだ。 ・これまである一定の税を納めなければ、選挙権を得ることできなかったな。 ・大日本帝国憲法と比較すると大きく変わったな。他に変わったことは？
基本的人権の尊重は、過去の歴史から学ばれた、人間は誰でも平等であるという考えのこと。			

調べる ④	憲法が定める国民の権利と義務について理解し、「権利と義務」の関連について考えることができる。	「国民の三大義務」とはどのような考えなのか。 ○国民の三大義務について理解する。 ○憲法が定める国民の権利と義務について理解し、「権利と義務」の関連について考える。 ○子どもたちも国民の義務を果たしていることを理解する。	・ 私たちも税金（消費税）を払っているんだ。国民としての義務を果たしているんだ。 ・ 家の人が義務を果たしているから、私たちは学校で勉強をしているんだ。
自分たちも国民として義務を果たしている。そのため、権利を主張することができる。			
調べる ⑤	国民主権が活かされている場面や国民が国の政治の在り方を決める権利をもっていることについて考えることができる。	○参政権に関する満18歳以上の国民に選挙権が与えられた資料を読み取る。 「国民主権」とはどのような考えなのか。 ○大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し、「国民主権」について調べる。 ○国民主権が活かされている場面や国民が国の政治の在り方を決める権利をもっていることについて考える。	・ なぜ選挙権を得る年齢が引き下げられたのだろう？ ・ 国が国民主権を広い世代に求めているということなんだな。だから、20歳から18歳に引き下げられたんだ。 ・ 大日本帝国憲法や戦争の反省を活かして今の日本国憲法が作られたんだな。
国民主権は、国や県・市の政治の中心は自分たち国民であるという考えのこと。			
深める・まとめる ⑥	日本国憲法と私たちのくらしの関連性を考えることができる。	○三原則の中で特に自分の未来とかかわるものはどれか考える。 「平和主義」「基本的人権の尊重」「国民主権」の考えのうち、特に自分の未来とかかわるものはどれか？ ○今までの学習を根拠として自分の意見を考える。 ○学級全体で話し合いを行い、意見を共有する。 ○意見の変更があるか考える。 ○最終的な自分の考えをノートにまとめる。	・ 三原則のどの考え方が特に私たちの生活とかかわっているのかな？ 【平和主義】日本は戦後70年間戦争をせずにいる。これからもそのような国であってほしい。 【基本的人権の尊重】国民の権利の中には、今の生活と大きく関係していることがある。 【国民主権】国の政治のあり方を最終的に決めるのは国民で、自分の意見を政治に反映させていかななくてはならない。
日本国憲法の三原則は国民にとってすべてが大切な考え方である。そして、それぞれが関係し合いながら私たちの生活に大きく影響を与えている。			

「わたしたちのくらしと日本国憲法」学習後の子どもの①概念獲得と②問題意識

① 日本国憲法は国家の理想・天皇の地位・国民としての権利及び義務などの国民生活の基本を定めている。平和主義・基本的人権の尊重・国民主権はどれも欠くことができない大切な考えである。②国民一人ひとりの願いは本当に叶えられているのかな。

(2) 国民一人ひとりの願いを実現する政治

時	学習のめあて	子どもの活動 (○)	子どもの問題意識
つかむ①	幼稚園新園舎と旧園舎の写真を比較し、共通点や相違点を考えることができる。	○日本国憲法の学習を振り返り、館山市の中で国民主権の考えが反映されて作られたものについて考える。 ○幼稚園新園舎と旧園舎の写真を比較し、共通点や相違点を考える。	・私たちの身近な地域で国民主権の考え方が反映されていることってあるのかな？ ・私たちが通っていた時には、水場が壊れていて不便だったな。
	学習問題②	本当に今までに、館山市で私たちの願いが現実されたことってあるの？	
		○なぜ？だれが？どのように？幼稚園新園舎建設に取り組んだのか予想する。	・なぜ幼稚園は新しく建て直されたのかな？だれが、どのように取り組んだのかな？
調べる②	見学を通して、予想したことを確かめることができる。	○どのようにすれば予想したことを確かめられるか考える。 ○幼稚園に、なぜ？だれが？どのように？取り組んだのか調査しに行く。	・実際に調査をしに行き、幼稚園の先生や保護者の方々にインタビューをしてみればいいね。 ・幼稚園の先生が「建て直そう」って言ったんじゃない？
		北条幼稚園は、旧幼稚園と比べ何が変わったのか、見学して確かめよう。	
		○幼稚園の先生方や保護者・園児にインタビューする。	・保護者アンケートからも老朽化について改善してほしいと要望があったんだ。
調べる③	見学してわかったことを学級全体で共有し、幼稚園建設には館山市役所がかかわっていることを理解できる。	○見学してきたことを振り返りながら、わかったことを学級全体で共有する。 ○見学をしたことで新たに生じた疑問をノートに書きだす。	・旧園舎は耐震性に問題があったそうだよ。 ・幼稚園の教頭先生は園長先生に聞いてみたら？と言ってたよ。
		北条幼稚園は以前に比べ良くなっていたが、だれがどのようにかかわって建設されたのか。	
		○館山市の財政の資料から、館山市の財政状況に気づく。	・館山市が建てたんだ。
		幼稚園建設には館山市がかかわっている。	・館山市の市民一人ひとりとは他の市と比べて、貯金が少なく、借金が多いんだ。なぜ7億円以上もかかったのに建て直せたのかな？

調べる ④	館山市役所と北条幼稚園のかかりについて調べるができる。	○予想を立て、市役所の子ども課に調査しに行く。 館山市役所は、なぜ7億円もかけて幼稚園建設をすることができたの	・幼稚園児のために建て直したんだよ。 ・保護者からも要望があったからね。
		○市役所の働きについて、建設施設課や子ども課の方から話を聞き、新園舎建設までの経緯を調べる。	・耐震化の問題は阪神淡路大震災や東日本大震災をきっかけに全国に広がったんだね。 ・予算を決めて、計画的に進めたんだ。
		市役所は、耐震化の課題と市民の要望をもとに計画案や予算案を組んだり幼稚園建設の準備をした。新園舎建設は行わなければいけないことだった。	
調べる ⑤	館山市議会がどのようにして北条幼稚園建設に関わったのか調べるができる。	○市役所で計画が立てられた後、どのようにしてそれは決定していくのか予想する。	・予算を決めて計画的に進めたようだけど、だれが決定したのかな？
		館山市議会ではどのようにして、幼稚園建設に取り組んだのか。	
		○市議会の働きについて議会の様子を映像で見ながらどのような話し合いが行われているか調べる。 ○市議会議員と、市長や市職員が互いに話し合いながら様々なことを決めていることに気づく。	・政策が決定する前に市民から意見を求めるパブリックコメントがあるんだね。 ・話し合いで決まった大金は誰が払っているんだろう？
		市議会では、市民によって選ばれた市議会議員が話し合って決定する。	
調べる ⑥	税金の集め方や使い道について理解することができる。	幼稚園建設にかかわる7億円はだれが出しているのか。	
		○7億円はだれが払っているのか予想する。 ○税金の集め方や使い道について調べる。 ○資料を使って国や県から得ている補助金に気づく。	・私たちが払っている消費税もあるし、住民税や所得税などいろいろな税金の種類があるんだね。 ・税金は私たちのくらしを支える会費なんだ。 ・国や県も補助金を出してくれたんだ。
		幼稚園建設にかかわる費用は住民や会社から税金として集められている。また、国からの補助金もでている。	
		幼稚園建設以外にも私たちの願いが叶えられていることってあるの？	

深 め る ・ ま と め る ⑦ ⑧	北条幼稚園と比較することで、市の政治の共通性に気づき考えを広げることができる。	幼稚園建設以外にも私たちの願いが叶えられて作られたものはあるの？ ○北条幼稚園と同じように、国からの補助金を得て建てられたり、作られたりしたものはあるか考える。 ○「渚の駅」「北条小の耐震工事」などについて知り、どのように市の政治がかかわっているのか予想を立て調べ、まとめる。 ・公園はどうだろう？ ・中学校の前の歩道はどうだろう？ ・北条小の耐震工事も関係しているかもね。 ・幼稚園建設以外にも多くのものが政治のはたらきによって作られたり建てられたりしたんだね。 北条幼稚園建設と同様に市の政治が県や国の政治と連携しながら様々なものが作られたり、建設されたりしており、より良い館山市を目指している。国民主権の考え方は、市の政治にも反映されている。
--	---	--

「国民一人ひとりの願いを実現する政治」学習後の子どもの①概念獲得と②問題意識

① 日本国憲法（国民主権）によって決められたことが、市の政治にも反映され、人々の願いが叶えられている。市も国や県と連携しながら、人々の生活をより良くしようとしている。②市の政治と国の政治は関係があるだろう。国の政治はどうなっているのかな。

(3) 国の政治のしくみ

時	学習のめあて	子どもの活動 (○)	子どもの問題意識
つ か む ・ 調 べ る ①	内閣の仕組みや働きについて調べ、内閣は内閣総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解することができる。 学習問題③	○市の政治の学習における市長や市議会の役割を振り返る。 ○内閣総理大臣と市の首長を比較しながらそれぞれの関連性について考える 国の政治（内閣）はどうなっているの？ ○内閣の役割について調べる。 ○地方公共団体のはたらきと内閣のはたらきを比較しながら共通する点について考える。 内閣は総理大臣を中心に国の政治を進めている。	・国の政治はどうなっているのかな？だれが中心となって進めているのかな？ ・内閣総理大臣は市長と内閣は市役所と似ているな。 ・内閣の文部科学省は市の教育委員会や子ども課、国土交通省は建設施設課と似ているな。 ・総理大臣が中心となって仕事を進めているんだね。 ・市議会と同じような話し合う場所はあるのかな？

調べる ②	国会の働きを調べることで国会は政治の方向性を話し合っていること、国会議員は選挙によって選ばれていることを理解することができる。	○満 18 歳以上の国民に選挙権が与えられた資料を読み取る。 国会は何をするところ？ ○国会の役割について調べる。 ○地方公共団体のはたらきと国会のはたらきを比較しながら共通する点について考える。 国会は国の政治の方向性を話し合う。国会議員は選挙で選ばれる。	・国会議員は選挙で選ばれた人たちの集まりなんだ。市議会議員の人たちと似ているな。 ・市議会では市の将来を考え、話し合っていたけれど、国会では国の向かうべき方向性や政策を話し合っているんだ。
調べる ・まとめ ③ ④	裁判所は法律に基づいて裁判を行い、国民の権利を守る仕事をしていることや裁判と国民のかかわりについて理解することができる。	裁判所は何をするところ？ ○裁判所の役割について調べる。 ○裁判員裁判のプラス面とマイナス面について知り、自分の考えをまとめる。 ○館山簡易裁判所について取り上げ、国の政治のしくみが地方自治とどのように関連しているのか考える。 裁判所は法律に基づいて問題を解決し、国民の権利を守るはたらきをしている。	・裁判所は法律に違反して政治が行われていないかチェックするんだ。国会や内閣と関係しているんだ。 ・国民も国民の感覚を裁判に活かすために、裁判に参加することがあるんだ。 ・国会・内閣・裁判所のかかわりのことを三権分立と言うんだ。

「国の政治のしくみ」学習後の子どもの①概念獲得②問題意識

① 国も市と同様、内閣総理大臣を中心として内閣を組織し、国会で話し合いをしたり、三権分立のもとそれぞれの立場からより良い国を目指している。②今まで日本のことを学習してきたけれど、世界の国々はどんな政治を行っているのだろうか？

<各小単元の学習を終え、獲得した概念が大単元の中心概念と結びつく>

①「わたしたちのくらしと日本国憲法」



②「国民一人ひとりの願いを実現する政治」



③「国の政治のしくみ」



政治は国民一人一人の願いを叶えるためのはたらきをしている。

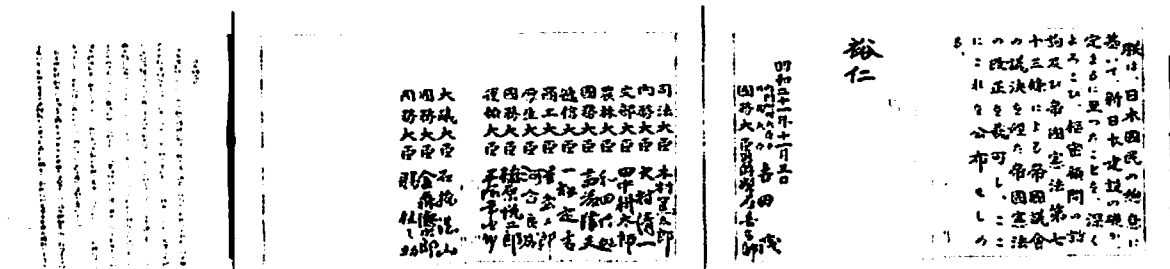
「授業の実際」

「わたしたちのくらしと日本国憲法」

つかむ①

- 歴史学習を振り返り、なぜ戦後の日本は平和になったのか考える。
- 日本国憲法の前文を読み取り、国の理念について考える。

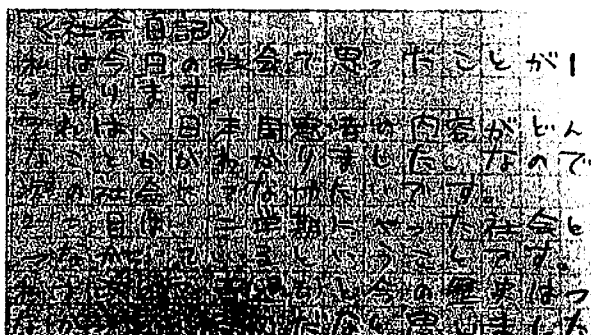
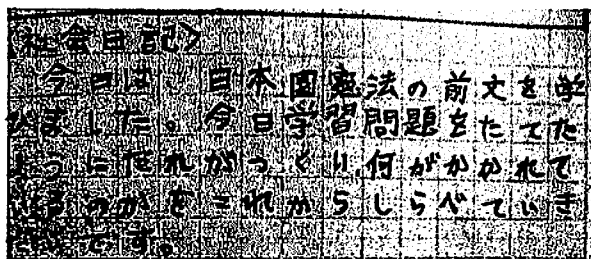
【第1時】



「なぜ戦後の日本は平和になったのだろう？」子どもたちと共に考える中で、戦後改革のひとつとして日本国憲法が作られたことを指摘した子どもがいた。そこから、憲法の前文を読んだ。子どもたちにとって原文は非常に難しい。

解説を加えながら前文にはどんなことが書かれているのか資料を読み取った。

「戦争をしなくなったのは、憲法に書いてあることを守っているからなんだ」とつぶやく子どもいれば、「先生、憲法って何条まであるんですか？」と疑問をもつ子どもいた。そこで、学級全体で話し合う中で下記の学習問題を作った。



学習問題① 日本国憲法には何が書かれているのだろうか？

【第2時～第5時】

調べる①

②③④

- 大日本帝国憲法と比較しながら、日本国憲法が定める三原則について資料から調べる。(平和主義・基本的人権の尊重・国民主権)

日本国憲法の3つの柱である平和主義・基本的人権の尊重・国民の権利と義務・国民主権について調べ学習を進めた。平和な国づくりをしてきた日本だからこそ、子どもたちは「平和主義」から調べようと言い出した。そして、過去の歴史と比較することにより、既習事項を生かして考えることができた。さらに、自分たちとの生活と憲法の結びつきも「憲法（平和主義）に～と書かれている」と関連させて考えることができた。憲法に書かれている内容は「自分たちの生活にも関係しているんだ」と実感しながら学習を進めていくことができた。

憲法に書かれている内容を自分たちの生活と結びつけて考えていることが感想から読み取れる。学校生活と平和主義との共通点に気づくことができている。

国民主権について、選挙年齢が引き下げられたことによる効果について記述されている。自分も国民としての自覚をもち政治に参加しなければならないという強い気持ち表れている。

今日の授業で「基本的な人の重なりは大切な考えだ」ということが分かりました。この考えがなると、差別があり、たいてい、~~22~~←てんびんが片方にかたむいてしまうと困ります。だから、ず、とてんびんが平等（同じ重さ）であるようにしたいです。

基本的人権の尊重の考え方がなければ「差別」が起こってしまうと過去の歴史と関連づけて考えられている。また、人間一人ひとりを天秤に例え、みんなが平等であるべきだと自分の考えを、例えを使って表現できている。

「日本国憲法と大日本帝国憲法を比較した表」

大日本帝国憲法	日本国憲法
1889年2月11日発布	1946年11月3日公布 1947年5月3日施行
天皇	国民
臣の元首であり、神聖な存在	日本国や国民のまとまりとしての象徴
天皇の恩恵によって与えられたもので、法律によって制限できる	おかすことのできない永久の権力で、最大限に尊重される
兵役・納税・教育 ※教育は学制や教育勅語により義務化	国民の義務 教育・納税・勤労
軍隊をもち、天皇に絶対権がある	戦力 戦争を放棄し、戦力をもたず、臣の交戦権を認めない
天皇の立法権に協力する組織（衆議院と貴族院）	国会 臣の最高機関で唯一の立法機関（衆議院と参議院）
内閣の規定はなく、憲法大目が個別に天皇を輔佐して天皇に対して責任を負う	内閣 議院外組織で、内閣は国会に対して連帯して責任をもつ
天皇の名によって裁判を行う	裁判所 司法権は独立し、憲法立法審査権がある（臣民の信任による裁判）
天皇だけが憲法を改正できる	憲法の改正 国会が提案し、国民投票で決める

○日本国憲法の三原則について話し合う。

これまで学習してきたことをもとに、自分の考えを深めるために、話し合いを行った。「平和主義・

基本的人権の尊重・国民主権の考えのうち、特に自分の未来とかかわるのはどれか？」とテーマを設定して行うことで、これまでの学習を振り返り、日本国憲法の三原則についての理解を深めることができた。

国民主権
へ理由へ
国民主権はないと、政府は、
かすものとなり、戦争がなま
たり、特がと人びと増えた。さ
かり。

学習してきたことを学習の根拠として自分の考えを書くことができている。

姓名: 王明
 性别: 男
 年龄: 25
 职业: 教师
 籍贯: 湖南
 民族: 汉族
 婚姻状况: 已婚
 子女情况: 一子一女
 健康状况: 良好
 兴趣爱好: 读书、运动
 自我评价: 为人正直, 工作认真

自分には、基本的人権の尊重と
思っています。なにかといふと
その中には権利と義務の二つ
大切な10個の権利と二つの義
務で、権利の中に働くことが
できるということがあるからです。

RECEIVED
JAN 10 1964
FBI - NEW YORK

FEDERAL BUREAU OF INVESTIGATION
U.S. DEPARTMENT OF JUSTICE

三原則について話し合う中で、友だちの考えを受け入れながら自分なりにノートにまとめている。考えを広げようとしている姿が見受けられる。

[illegible]

話し合いの中で友だちの考えを聞くことによって、三原則は「どれも欠くことのできないものである」という理解に達することができた。

改めて三原則について考えることによって理解が深まったことが感想から読み取れる。

日本国憲法と日本との関係性について記述されている。日本国憲法があるから日本は成り立っているという抽象的な思考に達している。

[illegible][illegible]

【小単元のまとめ】

日本国憲法は国家の理想・天皇の地位・国民としての権利及び義務などの国民生活の基本を定めている。平和主義・基本的人権の尊重・国民主権はどれも欠くことができない大切な考え。

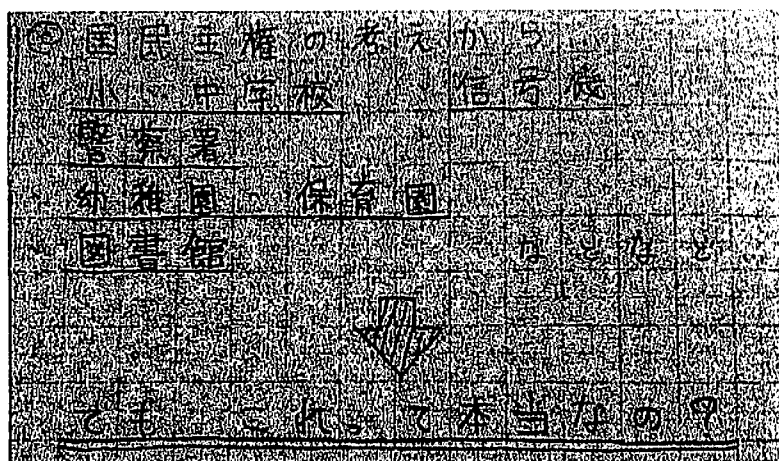
「国民一人ひとりの願いを実現する政治」

つかむ①

○日本国憲法の学習を振り返り、館山市の中で国民主権の考えが反映されて作られたり建てられたりしたものについて考える。

【第1時】

これまで学習してきたことをもとにして、「国民主権の考えから、国民（市民）一人ひとりの願いが叶えられて作られたり、建てられたりしたものは何があるかな？」と子どもたちに尋ねた。すると、子どもたちからは様々な意見が出された。子どもたちにとって身近でまさに建設されたばかりの北条幼稚園新園舎について調べることが決まり、学級で話し合いながら、下記の学習問題を作った。

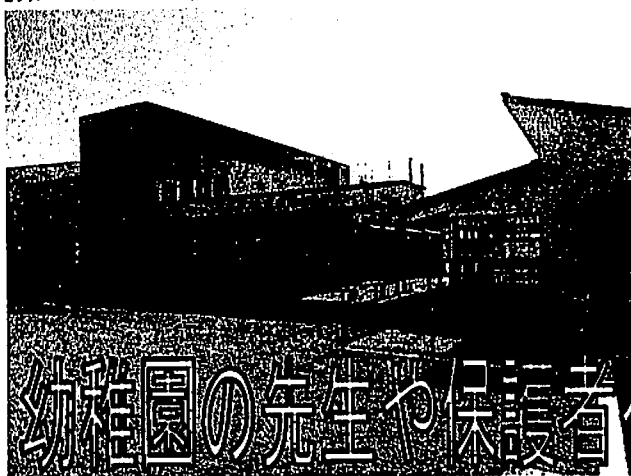


学習問題② 本当に、新北条幼稚園は一人ひとりの意見をもとにしてつくられたのか？

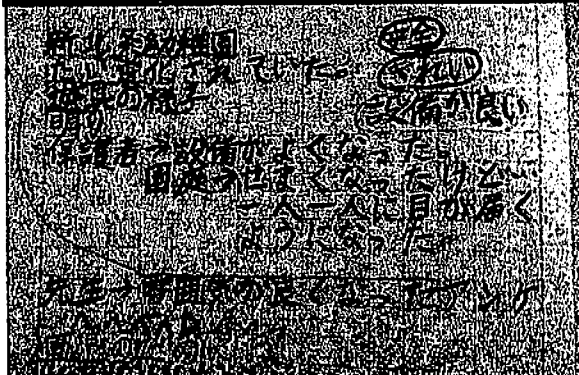
調べる①②

- 北条幼稚園は、旧幼稚園と比べてどのように良くなったか見学で調べる。
- 北条幼稚園建設はだれがどのようにかかわって建設されたのか調べる。

【第2時・3時】

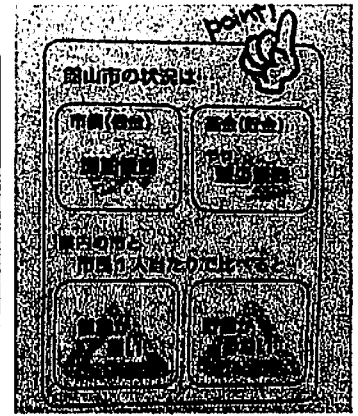


実際に北条幼稚園に調査をするために、見学へ行った。幼稚園の先生からの調査により、園舎が耐震化されたことや設備が良くなったこと、なにより、園児たちの安全が十分に守られるようになったということがわかった。また、保護者からも「安心して幼稚園に通わせられる」という話も聞くことができた。





北条幼稚園建設にはおよそ7億円の費用がかかっている。その事実と館山市の財政状況を比較することによって子どもたちに問題意識を芽生えさせることができた。



は、まさか幼稚園のために市役所にいくなんて思ってもいませんでした。しかし、幼稚園の建築費用が7億円なんて幼稚園のためにあんなに高いのとはじめて知りました。

子どもたちの場合、幼稚園の建設費用が7億円なんて、とても高いお金です。でも、幼稚園の建設費用が7億円なんて、とても高いお金です。でも、幼稚園の建設費用が7億円なんて、とても高いお金です。

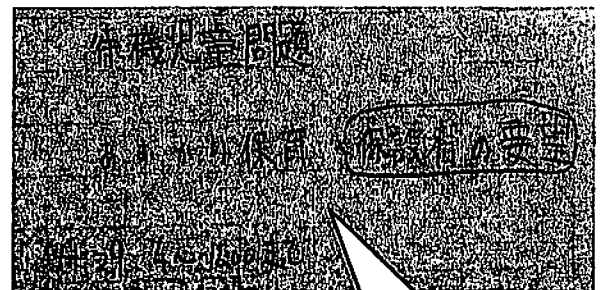
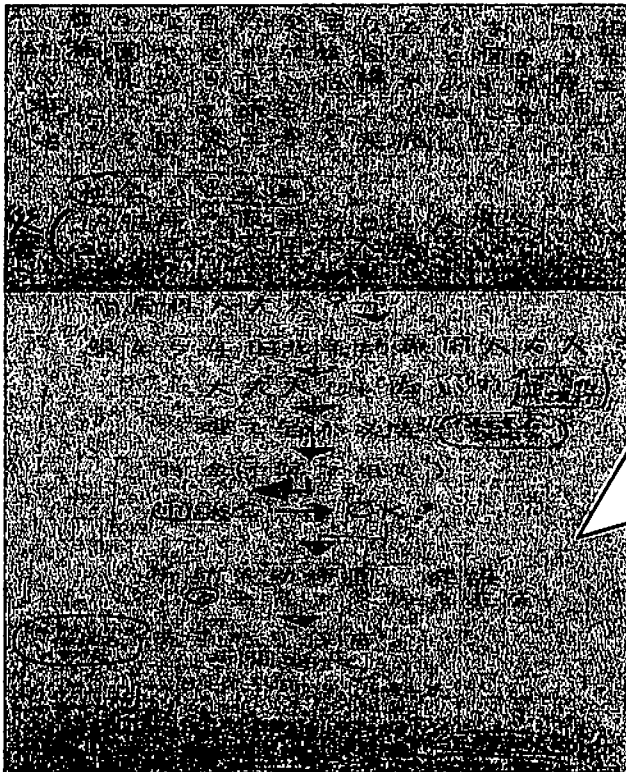
調べる③④

【第4・5時】

○館山市役所は、なぜ7億円もかけて幼稚園建設をすることができたのか、市役所の方々から調査する。

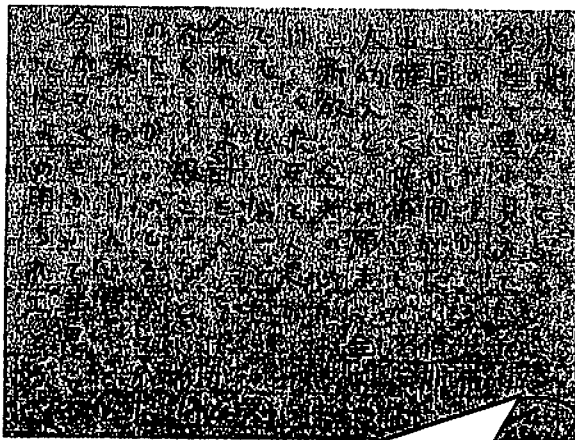
○館山市議会ではどのようにして、幼稚園建設に取り組んだのか調べる。

子どもたちは、「どうして館山市は借金が多いのに、7億円もかけて幼稚園を建設することができたのか」という問題意識をもった。そこで、館山市役所の建築施設課の鈴木さんと子ども課の大山さんの話を聞き、問題解決を図った。

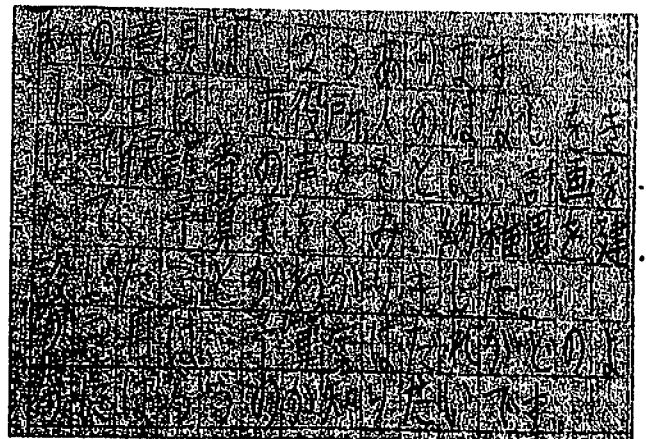


幼稚園建て替えには、社会的背景があること、予算を組むこと、市議会を通すこと、国や県から補助金を得ること、保護者へ説明を行うことなどがわかった。

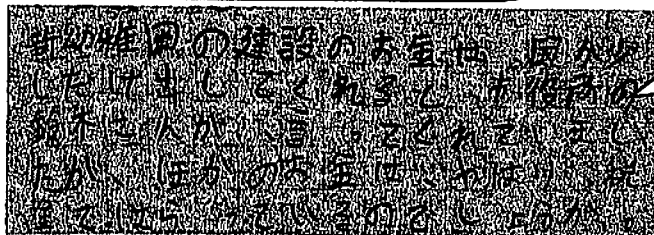
保護者の要望を聞き入れ、預かり保育の時間を延長したり、そのための教室を確保したり、市民の願いを叶えていることがわかった。



市役所の方々は、市民の要望を聞き入れ、幼稚園建設に反映したという、市役所の方々の思いにふれることができる。



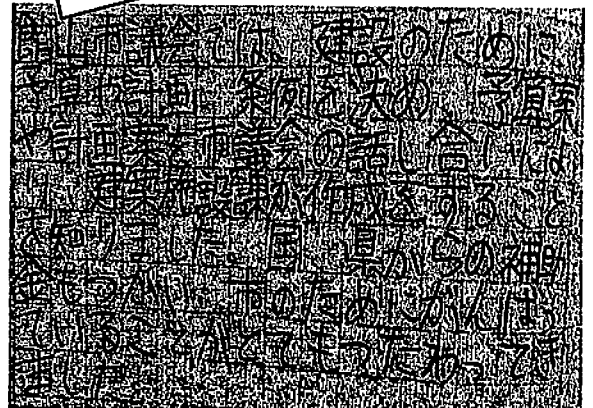
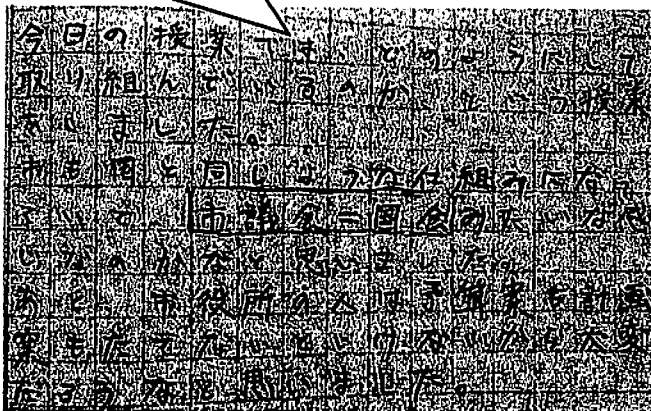
市役所の方々の話を聞いたうえで、どのような過程で幼稚園建設に至ったのかがよく表されている。



館山市が負担したお金は税金なのかと疑問を挙げている。その疑問を活かして税金の使い道を決める市議会のはたらきへ発展した。

市議会のはたらきを国会と関連させて考えられている。国会についてはまだ学習していないが、生活経験と関連させて考えられている。

館山市議会の学習を終え、市議会のはたらきがよく表されている。国や県からの補助金についても記述され、国・県・市とのかかわりが理解できている。



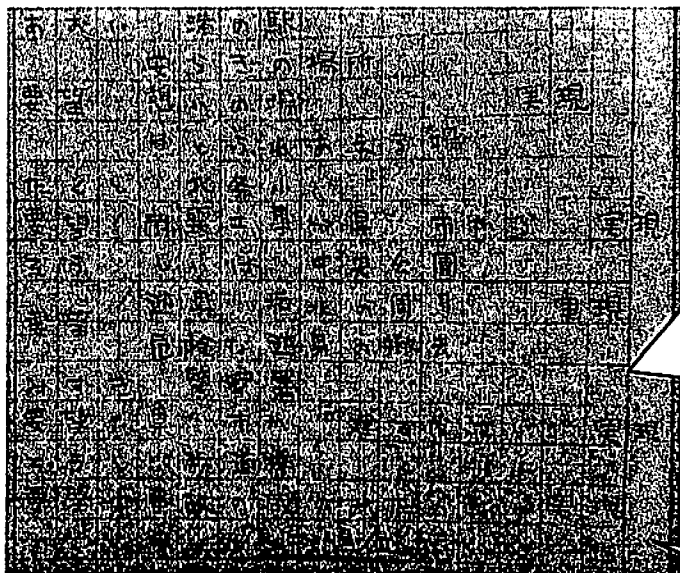
深める①

○北条幼稚園と同じように、国からの補助金を得て建てられたり、作られたりしたものはあるか予想し、調べる。

【第6時（課外7時）】

これまで、「新北条幼稚園は一人ひとりの意見をもとにしてつくられたのか」という学習問題に対して学習を進めてきた。子どもの感想にあるように市民一人ひとりの願いや意見は叶えられているという理解に深まっていった。そこで、考えを広げ、深めるために「幼稚園と同じように市民の願いや意見が叶えられたことは他の事例はあるの？」と尋ねた。すると子どもたちは課外の

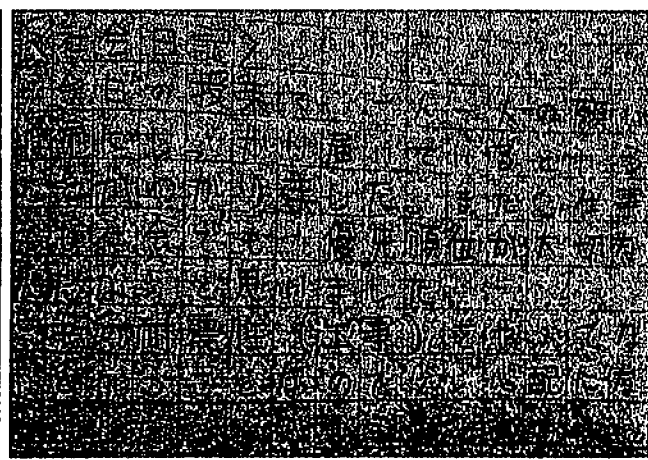
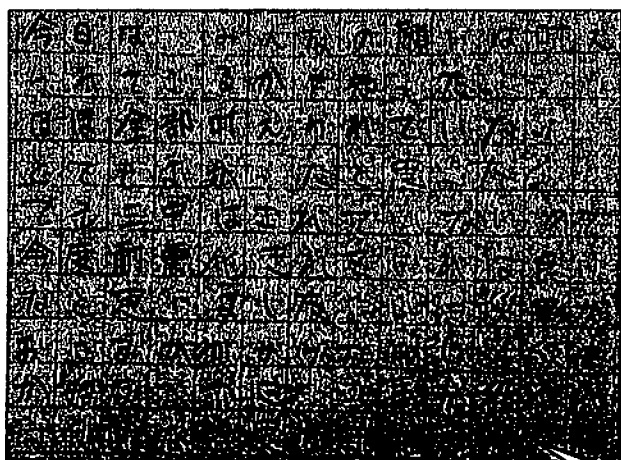
時間を使って調べてきた。



道の駅・北条小学校耐震工事・中央公園の遊具・噴水周りの整備・歩道橋など、様々なものを子どもたちは調べてきた。

また、建てたり作ったりするだけでなく、市民の要望を受けて撤去されるものがあることや叶わない要望もあるということも理解し、考えが深まっていった。

また、警察署などの公共施設は、「なければ市民の安全が守られない」「市民が願うよりも県や市が建てなければいけない」という理解に深まっていった。さらに、「すべてを一度に行うことは難しい」「予算もなくなってしまう」という話から物事に優先順位をつけて取り組んでいるという理解に至った。



「ほぼ全部叶えられている」という表現から、叶えられない事例もあることを理解している。

本小単元を俯瞰的に見て、概念化できているといえる。

【小単元のまとめ】

①日本国憲法（国民主権）によって決められたことが、市の政治にも反映され、人々の願いが叶えられている。市も国や県と連携しながら、人々の生活をより良くしようとしている。

「国の政治のしくみ」

つかむ①

調べる①②③

○市の政治と比較しながら、内閣のはたらきについて調べる。

○市の政治と比較しながら、国会のはたらきについて調べる。

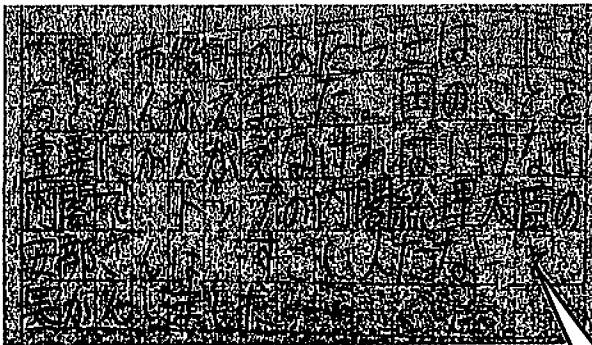
○裁判所のはたらきについて調べる。

【第1～4時】

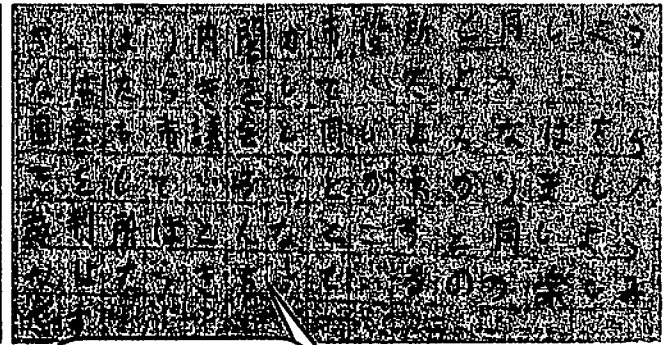
前単元で学んだ、「国民一人ひとりの願いを実現する政治」で、幼稚園建設に国からの補助金を得ていたことがわかった。幼稚園建設では、文部科学省や国土交通省が関わっている。そこで内閣の学習をスタートとし、下記の学習問題作り、市の政治のしくみやはたらきと国の政治のしくみやはたらきを比較しながら学習を進めた。

学習問題③国の政治のしくみやはたらきはどうなっているのかな？

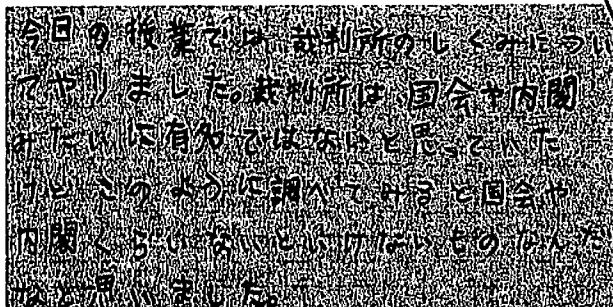
内閣の働き



国会の働き



裁判所の働き



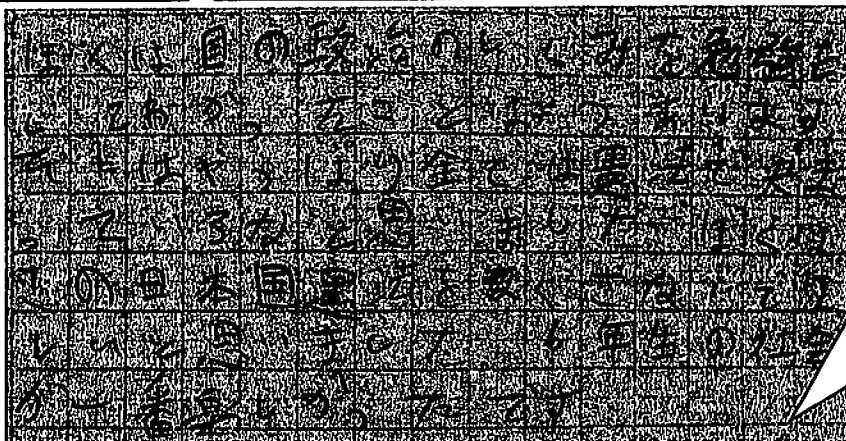
内閣と市役所の働きが似ているということに気づいている。内閣総理大臣は日本のトップということを実感している。

内閣の働きの学習を活かして、国会と市議会を比較していることに気づいている。

国も市と同様、内閣総理大臣を中心として内閣を組織し、国会で話し合いをしたり、三権分立のもとそれぞれの立場からより良い国を目指している。

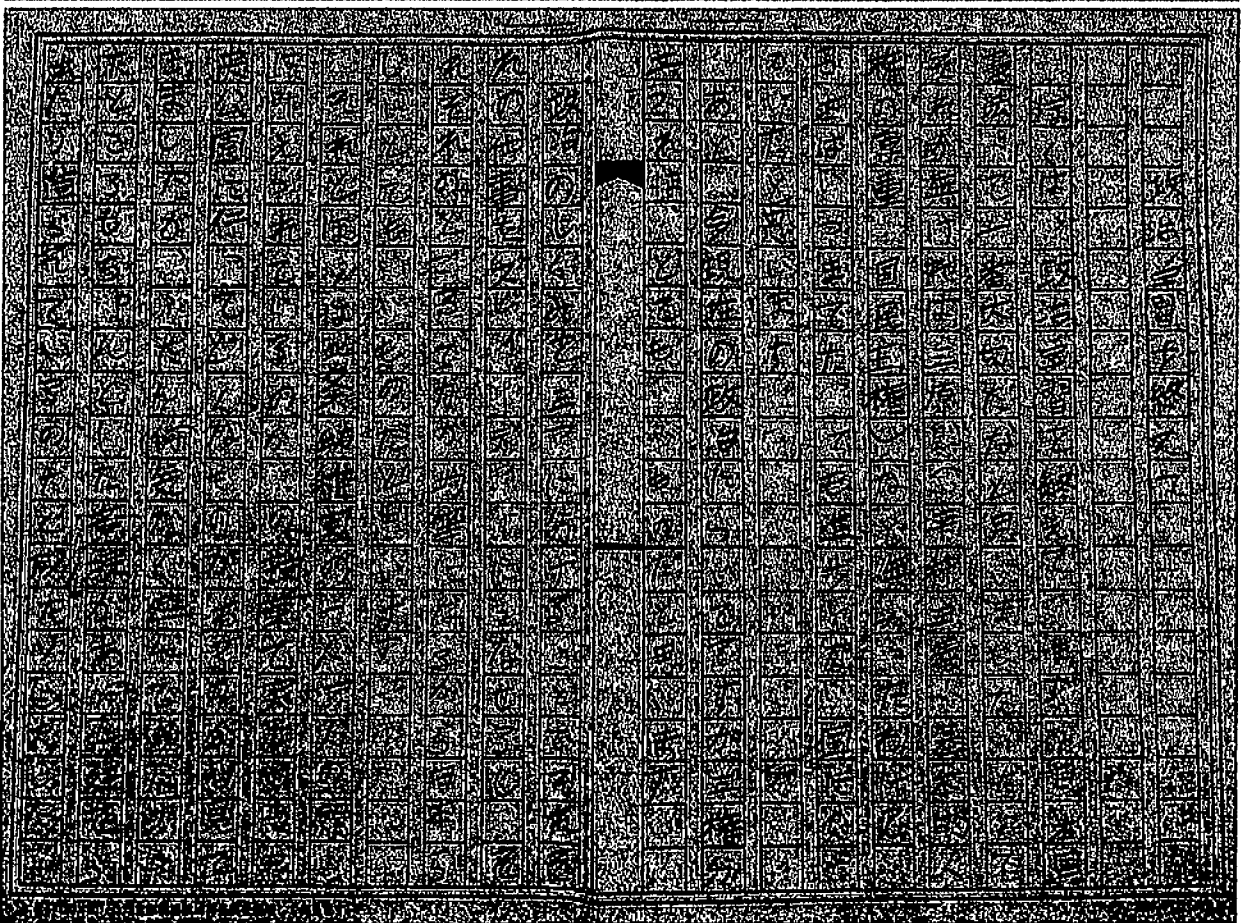
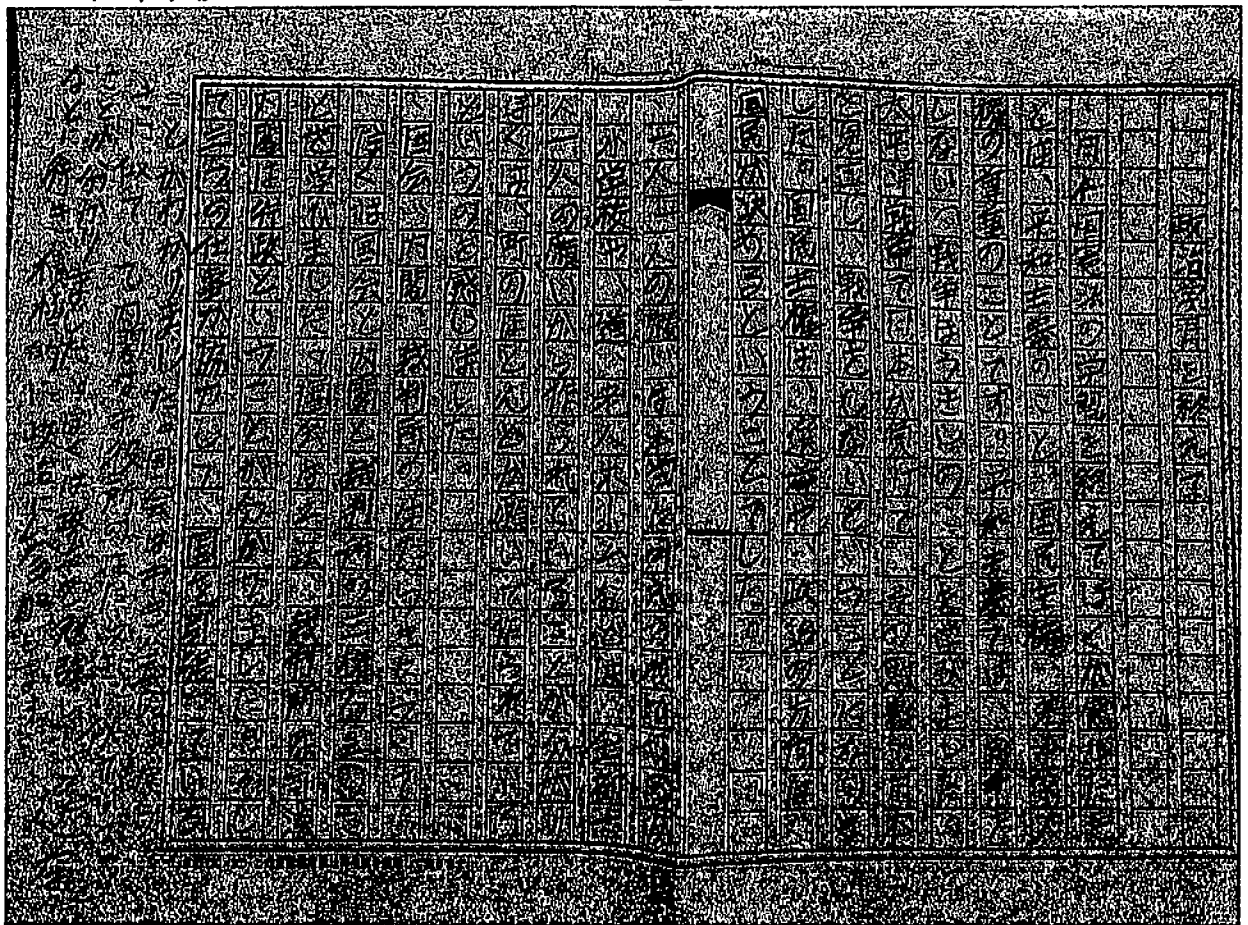
まとめる①

これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる。



国の政治のしくみも憲法で決まっているんだなと考えを深めることができる。また、憲法をなくさないでほしいと強い思いも込められている。

「学習後の子どもの感想」



「子どもの変容」

A	B	C
① 日本国憲法の学習問題を設定した直後の感想		
憲法のおかげで国民は絶対に戦争をしないとわかっているから安心して日本に住めると思いました。	日本国憲法にはどんなことが書かれていて、だれが作ったのか気になります。早く勉強して知りたいです。	日本国憲法の学習をしてすごく難しいなと思いました。
② 「わたしたちのくらしと日本国憲法」の学習を終えた後の感想		
私は3つの原則はどれも大切だと思いました。なぜかというところ3つの原則がある今が平和だと思うからです。この「今」がずっと続いたら良いと思います。	友だちの話を聞いて、日本国憲法の三原則は3つとも大事なんだと思いました。あと、自分たちの生活や未来にも関わっていると改めてわかりました。	3つの考えはどれもつながっていてどれも大切にしたいと思いました。
③ 北条幼稚園見学後に調査した内容を学級で共有した後の感想		
市は本当に人思いだと思いました。なぜなら借金が増えてしまうのに子どもの安全を守り、幼稚園を立て直したからです。あと、アンケートをすることは良いことです。本当のことを書くことができるからです。	北条幼稚園の先生は市役所にどんな要望をだしたのかな？と思いました。一人ひとりの願いはかなえられているのかなと思います。	館山市のお金がなくて借金をしていることがわかりました。その状況でも幼稚園が作られたのはすごいなと思います。
④ 「国民一人ひとりの願いを実現する政治」を終えた後の感想		
北条小学校も耐震化されてたくさんの方が安心できると思います。3年生のころ図工室で大変だったけど、今思うと耐震化されて良かったです。館山市は一人ひとりの願いをたくさん叶えてくれると思いました。	今日学習して思ったことは、幼稚園の他にも一人ひとりの願いが叶えられているものがたくさんあるとわかりました。その中でも安全のことや予算のことを考えて優先順位を決めているんだとわかりました。	幼稚園以外にも一人ひとりの願いが叶えられているとわかり、おどろきました。その中でも優先順位を決めているんだなと思いました。
⑤ 政治学習を終えた後の感想		
日本国憲法があるおかげで日本は平和でいれて本当に良かったと思いました。でも、その中には国民主権があり、いつでも過半数を超えれば憲法を変えることができます。だけど、私は大人になっても日本国憲法を無くさない考えが良いです。	私は政治の学習をする前は政治のことがあまりわからなかったけど、政治の学習を終えて、しくみがよくわかるようになりました。政治のしくみのことがもっともっとくわしく知りたいです。	政治の学習をして、日本国憲法は国だけでなく他のあらゆるものに通用するもので、このことを守ることが義務ということがわかりました。日本は何も争いが起こっていないから、みんなが平和主義を守っているなと感じた。

研究組織

共同研究者	石井 陸雄	(前安房社会科教育研究会 会長)
提案者	小泉 拓也 中川 翔矢	(館山市立北条小学校) (館山市立豊房小学校)
研究員	青木 康悦 栗山 徹 前田 康貴 吉岡 志隆 山下 弘和 中川 翔矢	(鴨川市立東条小学校) (館山市立館野小学校) (館山市立房南小学校) (館山市立田原小学校) (館山市立那古小学校) (館山市立豊房小学校)
研究協力	石井 俊道	(館山市立北条小学校)

【参考資料】

- 小学校学習指導要領 文部科学省
- 小学校学習指導要領解説 社会編 文部科学省
- 館山市広報 暖だん館山
- 房日新聞
- 声に出して読みたい小中学生にもわかる日本国憲法 齋藤 孝 岩崎書店
- 市役所のしごと (小学生・社会科見学シリーズ) 笠原 秀 ポプラ社

【取材協力】 ※敬称略

- 館山市立北条幼稚園
- 館山市役所子ども課
- 館山市役所建築施設課
- 渚の駅たてやま